

インターネットという「鏡」

インターネットは、我々に、何をもたらしたのか。
そのことを考えるとき、一つの言葉が浮かびます。

「鏡」

例えば、誰もが忙しく働く職場で、
ふと上司から届くメール。
わずか三行のメッセージなのに、
深く心に染み入る言葉。
その温かい気持ちが伝わってくる。

例えば、ネットコミュニティで発される
あるメンバーの無配慮な言葉。
数多くのメンバーの前でのたった一言が、
一人のメンバーの心を、深く傷つけてしまう。
発した言葉は、もう取り消せない。

それは、おそらく「鏡」なのでしょう。

我々一人ひとりの「人間力」を
拡大して映し出す「鏡」なのでしょう。

我々が、細やかに相手の気持ちを感じ取り、
心を込めて言葉を紡ぎ出す力を持つならば、
それは、素晴らしい拡大鏡。

我々が、相手の気持ちに配慮することなく、
思いに任せて言葉を撒き散らすならば、
それは、悲しむべき拡大鏡。

インターネットによって、我々は、
曇りなく映し出された
自分自身の「人間力」を見るのでしょうか。

では、なぜ、我々に、
そのような「鏡」が与えられたのか。

そのことを考えるとき、
もう一つの言葉が心に浮かびます。

「精神の成熟」

我々は、その「鏡」を見ることによって、
自身の姿を知り、
精神の成長と成熟を遂げていくのでしょうか。